

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	孤立性総肺静脈還流異常症(TAPVC)に対する外科治療の遠隔成績および術後肺静脈閉塞・遠隔死亡の予測因子
研究責任者	心臓血管外科 曹 宇晨／小出 昌秋
研究実施体制	当院のみで実施される後ろ向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 から 2020年 07月 31日 予定
対象者	1995-2019年に当院で施行したTAPVC修復術43例のうち観察期間が5年以上経過したTAPVC27例。
研究の意義・目的	TAPVCの外科治療成績に関しては、未だに肺静脈閉塞(PVO)や低心拍出量症候群などで治療に苦慮し救命できない症例を経験する。当院でTAPVC修復術を行った27例の外科手術遠隔成績を報告し、術後PVOおよび術後遠隔死亡のリスク因子を検討する。 一方で、TAPVC修復術後遠隔期においても、再手術の適応はないものの、肺静脈の軽度狭窄が指摘されている患者群があることも事実である。これらの患者群のリスク因子に関しては未だ報告は少なく、本研究ではそれらについても検討し報告する。
研究の方法	上記対象者の診療録から術前状態や背景、周術期データ、術後経過および合併症などを抽出し、後方視的に検討する。 本研究に係る資料・情報は、研究終了まで研究責任者の管理の下、外部に漏えいすることのないよう適正に保管する。廃棄する際には、個人を特定する情報が記載されていないことを確認した上で適正に廃棄する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	心臓血管外科 (氏名) 曹 宇晨／小出 昌秋 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日